

科学研究費助成事業（国際情報発信強化） 中間評価

課題番号	17HP3001	事業期間	平成29(2017)年度～ 令和3(2021)年度
取組の名称		団体名称	代表者名 (職名・氏名)
アジアにおける中東研究のリーディングジャーナルとしての『日本中東学会年報』の国際情報発信強化		日本中東学会	会長・大稔 哲也
学術刊行物の名称			(略称)
日本中東学会年報			A J A M E S

【令和元(2019)年度 中間評価結果】

評価	評価基準
A+	当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。
A	当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。
○ A-	当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。
B	今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が適当である。
C	今後の目標達成が見込まれないため、取組の中止が適当である。
(評価意見)	
<p>応募時点の目標は、国際連携強化、日本中東学会年報（AJAMES）のオープンアクセス化に対しては、当初の目標近く達成されている。しかし、日本中東学会年報（AJAMES）の欧文化率が2018年度に一時低下（前年度52%から44%）したことは懸念材料として残るが、これまでの国際化への取組は評価でき、今後に期待する。</p>	